

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

薬学教育学会

しゃっちょうは行く！



メディセレスクール
ファウンダー
児島 恵美子

夏の終わりに薬学教育学会に行ってきました。そこで、メディセレスはポスター発表で「習熟度テスト(低学年)から抽出したCBT・国家試験での学習到達度を予測する因子」として、低学年から薬剤で点数を稼いでいる学生は成績が伸びやすく、衛生で点数を稼いだ生徒の伸び率が最も低いことを示しました。

今回の学会は米国ワークショップからのハイブリッド開催であり、私は「米国PharmDでの臨床薬学教育を体験するワークショップ」に参加しました。米国では臨床もしくは研究を選べるとのことで、そこが日本と大きく違うところだと思いました。

今回の学会で発表された「コアカリ適用から2年目『情報・科学技術を活かす能力』を醸成する教育について考える」も興味を惹きました。大学ではどのようにそれを教育し、CBTや国家試験にはどのように出のかということを知りたかったのです。シンポジウムでは東京科学大学の事例も聞くことができました。

また、小学校などでのプログラミング教育が始まっているため、四苦八苦して今から構築していくものは簡単に凌駕されるだろうなとも思いました。プログラム医療機器が承認されていく時代であるため、その対応は学生だけでなく、薬剤師にも求められていくこととなります。「十年一昔」ではなく、AIの進歩により「半年一昔」の時代に――。生き残るための知識を一緒に学んでいきましょう。